

第2編  
基本計画

## 第5章 豊かな心と学びのあるまちを創る



毛呂山小学校のこいのぼりあげ

## 第1節 幼児教育・義務教育

### 【施策が目指す方向性】

- 小中一貫教育とそれを支えるコミュニティ・スクールを推進し、毛呂山町で学ぶすべての子どもを学校と家庭・地域の協力で健やかに育てていきます。また、子どもたちが楽しく学校に通い、勉強に取り組むことで学力向上を目指します。
- 教育環境を整備し、家庭や地域との連携により小中学校の児童生徒の安全と安心を確保します。
- 教育内容と教育環境を充実させ、児童生徒の学力向上を目指します。
- 規律ある態度や他者を思いやる心の教育の充実により、不登校の児童生徒を減らします。
- 家庭や地域との連携により、基本的な生活習慣が育成され、豊かな心を持ちたくましく生きる児童生徒を育成します。
- 安全・安心で快適な教育環境をすべての児童生徒に等しく提供します。

### 【指標】

指標名		現状値	目標値
		平成30年度	令和6年度
埼玉県学力・学習状況調査で前年度から学力が伸びた児童生徒の割合	国語	61.8%	65.0%
	算数 数学	66.1%	70.0%

### 【現状と課題】

- これまで、小中学校教職員の連携を図ってきたことで、児童生徒の学力向上等に一定の成果を得ることができましたが、主体的に学習に取り組む態度や思考力、判断力、表現力が十分に育っていないことや基本的な生活習慣が十分に身につけていないことなどの課題が残されました。これらの課題に対応するために、小中9年間という見通しをもった連続性のある小中一貫教育の実施と、小中一貫教育を支える学校・家庭・地域の連携によるコミュニティ・スクールの推進が必要になります。

- 児童生徒理解のため、生徒指導教育相談研修・事例研修会の開催や町費支援員の全体研修、授業訪問等を行いました。今後も教員等の資質の向上を図ります。
- 児童生徒及び保護者との相談及び援助に関することや教職員、学校、家庭及び地域との連携を通して、いじめ・不登校への対応を実施しました。また、学校に馴染めず、不登校の生徒に対する適応指導教室へ携わる指導員として適応指導教室指導員を配置しました。しかし、今後も更に相談や不登校への対応の増加が見込まれることから、相談活動や適応指導教室の充実を図る必要があります。
- 配慮を要する児童生徒のために児童生徒支援員を配置し、一人ひとりにあった学習の場を提供できるよう努めました。また、毛呂山特別支援学校のコーディネーターと連携し、特別支援教育研修や授業研究会を開催しました。また、ケース会議等により具体的な支援のあり方を学び、特別支援学級等担任の資質の向上に努めることができました。今後更に一人ひとりに応じた指導の工夫のために、研修の充実を図る必要があります。
- 学校施設の老朽化が進んでいます。児童生徒数の推計や社会情勢などを踏まえ計画的に老朽化対策を進める必要があります。
- 小中一貫教育とそれを支えるコミュニティ・スクールを更に推進させるために、中学校区ごとの施設一体型小中一貫校を目指した教育環境の充実を図る必要があります。

【施策】

施策名	施策の内容	主な事務事業
幼児教育の充実	幼稚園、保育園から小学校へのスムーズな接続を図るため、幼・保と小中の連携を深めていきます。	◆幼・保・小・中連絡協議会
教育環境の整備	安全・安心で快適な教育環境を確保するための施設及び設備の維持改修と小中一貫教育を推進するための施設・環境整備を行います。	◆小中学校施設・環境整備事業
教育内容の充実	「未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト」を推進します。9年間の一貫した指導により、子どもの「生きる力」を育成します。学校・家庭・地域の協働体制をつくり、子どもの教育環境の充実を図ります。	◆小中一貫教育 ◆支援員等配置事業 ◆外国語指導助手（ALT）配置事業 ◆中学生社会体験チャレンジ事業 ◆標準学力調査 ◆生徒指導・教育相談に関する研修事業 ◆学校教育指導員配置事業
規律ある態度や心の教育の充実	いじめや不登校、児童生徒による非行問題行動などの解決に向け、学校や教育センターにおける相談機能の充実と生徒指導の充実を図ります。また、小中学校や関係機関と連携を図りながら配慮を要する児童生徒へ対応し、他者を思いやり、共に生きる社会をつくる心豊かな子どもを育てます。	◆不登校対策相談員配置事業 ◆教育相談員配置事業 ◆適応指導教室 ◆毛呂山町いじめ問題対策連絡協議会 ◆スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用

施策名	施策の内容	主な事務事業
家庭・地域との連携の充実	学校・家庭・地域の連携を深め、家庭での手伝いや地域活動への参加などにより、基本的な生活習慣や社会性を身につけさせ、児童生徒の健全育成を図ります。また、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を通して、学校と地域住民、保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことで、地域ならではの創意工夫を活かした特色のある学校づくりを進めていきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）</li> <li>◆学校応援団の支援</li> </ul>
特別支援教育の充実	就学支援委員会や就学相談を充実させるとともに、障害のある児童生徒一人ひとりの自立に向けたきめ細かい支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆就学相談</li> <li>◆就学支援委員会</li> <li>◆就学奨励費支給事業</li> <li>◆支援員配置事業</li> </ul>
学校給食の充実	児童生徒の生産者に対する感謝の気持ちや、地域の食材への関心を深めるため、地場産物の活用の推進やその特色を活かした献立の導入に努めるとともに、民間の活力を活用し特色ある学校給食の提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地場産物を活用した特色ある献立の導入</li> <li>◆厨房機器更新事業</li> </ul>

## 【関連計画】

計画名	計画年度
第2期毛呂山町教育振興基本計画	平成28年度～令和2年度

## 第2節 生涯学習・青少年育成

### 【施策が目指す方向性】

- 社会教育活動を推進し、地域で活躍する人づくりのための学習を推進します。
- 様々な学習活動を通して、コミュニティ・スクールに参画し、地域全体で青少年を育成しようとする人材を増やし、地域活動を活性化します。

### 【指標】

指標名	現状値	目標値
	平成30年度	令和6年度
生涯学習ボランティア人材バンクの利用回数	33件	43件

### 【現状と課題】

- 町では、様々な学習活動や学習成果の発表の機会を提供してきましたが、今後は学習成果の地域還元に力を入れていく必要があります。
- 各公民館で、新たな内容の講座や登録団体に結び付けられる講座の開催、そして世代間交流を促進する事業を行っています。
- 学習施設の適切な維持・管理・運営に関しては、町立図書館にて指定管理者制度を活用し、適切な運営を行っています。
- 町民が町の歴史や民俗に関心を持ち、資料等を活用できるよう取り組みました。
- 公民館まつり／ふれあい文化祭は、公民館の主要事業であり、利用団体の年間活動成果発表の場であるため、高齢化等による参加団体数の減少はあるものの、今後も事業の充実を図ります。
- 地域コミュニティの希薄化により、青少年の育成の機会そのものが減少しており、学校を核とした地域ぐるみの取り組みを行う必要があります。

### ●公民館利用状況の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
中央公民館					
利用件数 (件)	4,676	4,614	4,307	4,635	4,622
利用人数 (人)	58,045	58,576	54,464	59,067	61,006
東公民館					
利用件数 (件)	3,598	3,610	3,606	3,415	3,304
利用人数 (人)	46,605	44,773	43,639	41,592	40,359

資料：公民館

## ●図書館利用状況の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
蔵書数（点）	249,454	253,552	252,028	249,828	251,002
貸出数（点）	282,642	289,046	291,356	294,461	274,941
利用者数（人）	69,308	70,876	70,521	70,693	62,507
住民1人当たり蔵書数（点）	7.10	7.29	7.31	7.32	7.40
利用者1人当たり貸出数（点）	4.08	4.08	4.13	4.17	4.40

資料：生涯学習課

## 【施策】

施策名	施策の内容	主な事務事業
生涯学習推進体制の充実	社会教育委員の助言や積極的な提言をコミュニティ・スクールや地域の課題解決、人材育成に活かし、社会教育・生涯学習の推進を図ります。また、社会教育施設の維持に努め、より使いやすい学習環境を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆社会教育委員会議</li> <li>◆大学との連携事業</li> <li>◆社会教育施設の適切な維持・管理・運営</li> </ul>
学習機会の提供と学習活動の支援	町民の学習意欲に応えるため、学習情報を収集・発信するとともに、様々な学習機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆寿大学</li> <li>◆「親の学習」講座</li> <li>◆生涯学習情報サイトの管理</li> <li>◆公民館教室・講座</li> <li>◆世代間交流事業</li> <li>◆資料館展示事業</li> <li>◆歴史民俗調査等事業</li> <li>◆歴史民俗講座・体験教室</li> <li>◆いきいき大学もろやま</li> </ul>
学習成果の地域還元と人材活用制度の充実	様々な学習機会学んだ成果や発表の場を、学校を核とした地域づくりに還元できる仕組みをつくとともに、生涯学習人材バンクの充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆毛呂山町音楽祭・芸能発表会</li> <li>◆公民館まつり／ふれあい文化祭</li> <li>◆生涯学習ボランティア人材バンク</li> <li>◆文化関係団体の支援</li> <li>◆資料館サポーターとの協働事業</li> <li>◆福祉会館自主公演</li> </ul>
青少年育成活動の充実	青少年関係団体の支援や団体間の連携強化、イベントや講演会などの開催により、地域活動を通して青少年を育成するための環境づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆青少年関係団体の支援</li> <li>◆成人のつどい</li> <li>◆彩の国21世紀郷土かるたの普及</li> <li>◆放課後学習教室</li> </ul>

## 【関連計画】

計画名	計画年度
第2期毛呂山町教育振興基本計画	平成28年度～令和2年度

## 第3節 スポーツ・レクリエーション

### 【施策が目指す方向性】

- それぞれの目的や適性に応じて、楽しみながらスポーツに親しむ人を増やします。
- スポーツ・レクリエーション活動により、地域コミュニティを活性化します。

### 【指標】

指標名	現状値	目標値
	平成30年度	令和6年度
成人のスポーツ実施率（週1回以上）	37.0%	52.0%

### 【現状と課題】

- 軽スポーツをはじめとするスポーツ大会・各種イベントの開催等により、スポーツを通じたコミュニケーションづくりの場を提供しました。今後も身近で気軽にスポーツを楽しむ場や機会を提供し、いつでも、どこでも、誰もが楽しめる生涯スポーツの普及促進を図ります。
- スポーツ団体の指導者等の資質向上を目的に毎年、スポーツ少年団やスポーツ推進委員の研修会に参加し資質の向上を図りました。また、教室を行ったことによって新しい競技団体も結成され、町民の自主的なスポーツ活動を促進しました。今後もスポーツ団体や人材と連携してスポーツ振興を推進します。
- 体育施設の老朽化が進んでおり、利用者に快く利用していただけるよう、計画的に修繕を行う必要があります。

### ●総合公園(運動施設)の利用状況の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
テニスコート	5,105	5,495	5,676	4,931	3,492
体育館					
メインアリーナ	31,590	34,040	33,972	32,522	37,700
サブアリーナ	9,770	9,200	10,413	10,767	11,786
柔剣道場・その他	14,869	13,916	13,538	13,414	15,121
トレーニング室	15,316	17,584	18,463	19,125	17,998
計	71,545	74,740	76,386	75,828	82,605
グラウンド	31,793	29,698	34,813	26,316	29,273
合計	108,443	109,933	116,875	107,075	115,370

資料：スポーツ振興課



## ● 体育施設の利用状況の推移

(単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
川角公園テニスコート	6,621	6,747	7,060	6,225	6,306
川角グラウンド	2,431	1,888	2,361	2,323	2,783
目白台グラウンド	2,373	2,440	2,622	2,761	3,170
岩井グラウンド	4,054	3,405	3,812	3,406	2,830
弓道場	4,519	4,463	4,509	3,758	3,553
大類グラウンド	9,071	7,793	13,038	8,581	8,377
大類ペタンクコート	2,171	2,257	2,627	2,126	1,785
大類ソフトボールパーク	12,155	11,065	12,115	11,747	11,048
西戸グラウンド	7,291	6,689	7,180	7,396	6,676
合計	50,686	46,747	55,324	48,323	46,528

資料：スポーツ振興課

## ● スポーツ愛好者数の推移

(単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
スポーツ愛好者数	4,169	3,703	4,792	4,705	4,711

資料：スポーツ振興課

## 【施策】

施策名	施策の内容	主な事務事業
生涯スポーツの普及促進	軽スポーツをはじめとするスポーツ大会・教室・各種イベントの開催など、種目や内容の見直しを行いながら、いつでも、どこでも、誰もが楽しめる生涯スポーツの普及促進を図ります。	◆軽スポーツ大会・教室 ◆スポーツ健康フェア ◆町民レクリエーション大会
スポーツ団体・人材の育成と活用	各種団体等との連携を強化し、人材育成のための研修会参加を促進するとともに、団体や人材の育成・支援を継続していきます。	◆スポーツ団体の支援
体育施設の整備と利用促進	利用者が快適に利用できるよう、計画的に体育施設の改修を進めます。また、学校開放施設も含め体育施設の利用促進に努めます。	◆各体育施設の適切な維持管理

## 【関連計画】

計画名	計画年度
第2期毛呂山町教育振興基本計画	平成28年度～令和2年度

## 第4節 文化財の保護

### 【施策が目指す方向性】

- 文化遺産の保存を進め、郷土を愛する心の育成と文化財を活かしたまちづくりに取り組みます。
- 町内の獅子舞やお囃子は地域の誇りとして継承され、流鏝馬は埼玉県を代表する民俗文化財として注目されるよう、保護に取り組みます。

### 【指標】

指標名	現状値	目標値
	平成30年度	令和6年度
文化財保護ボランティアの活動回数	15回	25回

### 【現状と課題】

- 文化財調査によって貴重な史跡や文化財が明らかになりつつありますが、まちづくりに活かすためには、更なる取り組みを行う必要があります。
- 流鏝馬は埼玉県を代表する民俗行事として注目を集めるようになり、伝統文化の意義を深める普及事業に取り組みました。
- 町を東部・中央部・西部の3つの地域に分け、各地域の文化的な特色を町内外に周知して文化財の保存と活用の気運を高めていきます。鎌倉街道や流鏝馬、郷土ゆかりの偉人の足跡を郷土愛を育む素材として学校教育との連携に活用します。

### ●歴史民俗資料館利用状況の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入館者数（人）	9,442	7,837	10,089	9,212	8,581
開館日数（日）	301	301	298	301	305
1日当たり平均入館者数（人）	31	26	34	31	28

資料：歴史民俗資料館

## 【施策】

施策名	施策の内容	主な事務事業
文化財の保存・管理・活用	文化財の保護に必要な調査を実施します。埋蔵文化財発掘調査事業は、早期に学術調査報告書を刊行し、出土文化財の積極的な活用を進めます。 文化財の保存活用にあたっては、社会教育の視点に立ち、郷土の偉人の足跡や鎌倉街道、流鏝馬などを郷土学習に活用し、文化財保護思想の高揚、郷土を愛する心を育成します。 更に、郷土学習の成果を文化財保護ボランティアの育成、コミュニティ・スクールにおける地域活動に活かします。	◆埋蔵文化財発掘調査事業 ◆文化財保存・管理・活用事業
無形民俗文化財に対する支援	町の無形民俗文化財保存団体への支援を継続して実施します。流鏝馬は、祭馬区の住民を対象に、引き続き継承の意義について出前講座を行います。また、継続して流鏝馬の調査を進め、特色ある地域固有の文化財として多方面に情報を発信します。	◆無形民俗文化財保存団体への支援、普及事業の実施 ◆流鏝馬の調査研究
鎌倉街道の保存活用	毛呂山町の鎌倉街道は埼玉県内で最も良好に保存されています。遺跡の国宝である国指定史跡として町民の誇りとなるよう保存活用に取り組みます。	◆鎌倉街道及び周辺文化財群の保存活用事業

## 【関連計画】

計画名	計画年度
第2期毛呂山町教育振興基本計画	平成28年度～令和2年度

